

こうざ えもんつうしん 講左衛門通信

平成28年12月11日

第77号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『今日は、話をする前に、恥ずかしながら訂正のお詫びをしなければいけないんじゃない。前回、第75号と印刷してしまっただが、正しくは第76号だったんじゃないよ。すまんのう…さて、先日、福島県では、地蔵菩薩が何体も壊されるという被害が相次いで起こっているという報道があったが、東日本大震災の爪痕の深さを物語る事件だと思うんじゃないよ。仏様を破壊する行為は、悪いことじゃ。しかし、憤りを仏様にぶつけなければならぬ、悩み苦しむ人の姿は、壊された仏様も痛いほど分かっておられると思うんじゃないよ。それほど、仏の慈悲は深いんじゃないよ。』

『様々な視点で物事を捉えることは大事だと感じるでまっすん。復興を願っても思い通りに進まない不安は、その人の身にならなければ、理解することはできないでまっすん。おいらにできることは、東日本大震災、また、熊本地震、日本中で災害に遭われた多くの人々の復興を願うことだけでまっすん。慈悲深い、お地蔵様が被害に遭われたことは、悲しいことでまっすん。けれども、ぶつけどころのない悲しみや苦しみは、切ないでまっすん。』

『そうじゃな。東円寺に祀られている聖観音様は、来年700年を迎えるんじゃない。700年間の歴史を振り返ると、聖観音様が造られた鎌倉時代は、戦国時代じゃ。それぞれの国を統治するために、人は争い、殺しあっていた時代じゃ。凶作もあれば、飢えて死ぬ人もいたじゃろう。そんな時代背景を想像すると、農作物が豊かに実るよう祈る人々、赤子が無事に成人するよう祈る人々、その人々の祈りを聖観音様は聞いて来られたんじゃないよ。』

『富士山山頂も、煙が上がっていたでまっすん。300年前の宝永の噴火は、その噴煙が東京まで飛散したというのだから、火山灰によって農作物は、凶作だったでまっすん。いつの時代も、人々の暮らしは、自然災害と向き合ってきた歴史があるでまっすん。』

『先人たちの努力によって、豊かな社会が築かれた。しかし、いつの時代も、生きることは、人の力ではどうすることもできないことの方が多んじゃないよ。豊かさによって、忘れてしまっておるが、便利さを求め人によって作り上げられたものが、様々な災害を引き起こしているんじゃない。その代表が原発じゃ。地球温暖化も天災というより、人災じゃ。しかし、誰を恨むことはできんじゃろ。その思いを吐き出す場所が、祈りとなると思うんじゃない。』

『それが、様々な信仰ということではまっすん？祈ることによって、心を穏やかに保つことができるでまっすん。』

『そういうことじゃな。祈ることによって、心が救われるんじゃないよ。観音様は現世利益があるとされるから、観音様に救いを求めた人は多かったんじゃないよ。人気者だったんじゃないよ。今年最後の講座衛門通信となってしまった。世話になったのう。』

『来年もよろしくでまっすん。』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん…

ふじのたいがこうざ えもん
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

